

消石灰の散布による農場防疫のポイント

国内外で家畜伝染病の発生が確認されており、特に韓国ではランピースキン病の発生が継続しています。農場への病原体侵入防止対策の一つとして、消石灰を適切に活用しましょう。

ポイント

1. 散布場所

- 農場出入口
- 畜舎出入口
- 車両侵入路

2. 散布方法

- 目安は 0.5 kg/m^2
- 地面が白く均一になるよう散布
- 車両侵入路は、日常的に出入りする車両の長さの約2倍等

3. 消毒効果

- 粉の状態に水分が加わると効果を発揮 → 強アルカリ化
- 効果は1～2週間程度

4. 再散布の目安

- 1週間に1回 → 空気や雨水中の CO_2 との接触で効果低下のため

消石灰を取り扱う際の注意

畜産農場で使用する消毒用の消石灰は比較的安全な物質ですが、**強アルカリ**であること、**水や汗に触れると火傷のような症状**を引き起こすことがあるため、その取扱いには注意が必要です。

【 注意点 】

- ① 皮膚、口、呼吸器等を刺激し、**皮膚や粘膜が赤くただれる**ことがあります。
- ② 眼に対して刺激性であるため、**視力障害**を起こすことがあります。
- ③ 皮膚に付いて水や汗に触れると火傷のような症状を引き起こすことがあります。
- ④ 取り扱った後は、**手洗いとうがい**を忘れないようにしてください。
- ⑤ **子供の手の届かない所**に保管してください。

【 使用する際には 】

- ① **保護メガネ** （目に入らないようにします。）
- ② **保護手袋** （ビニール手袋などを用いて、直接肌に触れないようにします。）
- ③ **保護マスク** （吸い込んだり、飲み込まないようにします。）
- ④ **保護衣服** （防水性の作業着などを着用し、直接肌に触れないようにします。）

【 万が一の際には 】

- ① **目に入った場合**： 直ちにきれいな大量の水で15分以上洗浄し、速やかに医師の診察を受ける必要があります。
- ② **吸い込んだ場合**： 新鮮で清浄な空気のある場所へ移動し、きれいな水でうがいし、鼻の穴も洗浄後、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③ **飲み込んだ場合**： 直ちにきれいな水で口の中をよく洗い、速やかに医師の診察を受けてください。
- ④ **皮膚に付いた場合**： 直ちに大量の水で洗い流し、強い肌荒れや火傷のような症が見られたら、速やかに医師の診察を受けてください。

消石灰は、強いアルカリであることを忘れずに、周囲の農業者や農場など周辺環境にも配慮しながら散布してください。

（参考：高病原性鳥インフルエンザに関する防疫作業マニュアル（農林水産省））

飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL:0577-33-1111(内線403) FAX:0577-32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp ※閉庁時には案内メッセージに従って対応をお願いします。

飛騨家畜保健衛生所
家畜衛生情報はこちら⇒

